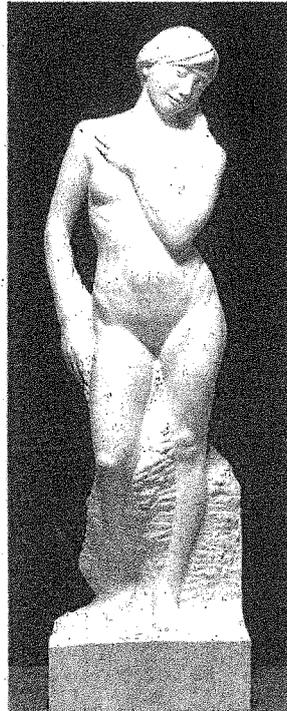


改組新第3回日展 鹿県関係者の作品から

4部門27人が入選

来月4日まで東京・国立新美術館

改組新第3回日展が12月4日まで、東京・六本木の国立新美術館で開かれている。鹿児島からは洋画、彫刻、工芸美術、書の4部門で計27人が入選し、うち彫刻の井上周一郎と工芸美術の佐々木眞澄が特選に選ばれた。ほかに彫刻の楠元香代子(芸員)が東京都知事賞に決まった。県関係の作品を紹介する。(江田裕樹)



井上周一郎「涙の行方」

特選・井上 大理石の明暗に美しさ
都知事賞 楠元 新しい発想に高い評価

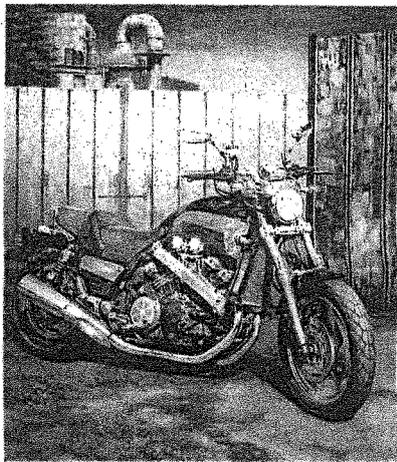
細部も緻密
バイクに愛

入選・河野

さしや温かみを感じられ、竹留一夫(薩摩)を見よ、川内市出身「古木のある児島市喜入出身」この人「広場」なども展示。

洋画

入選は3人。止まったバイクを描いた河野健一郎「いつもと違う道で」は細部まで緻密で、バイクへの愛情が感じられる。樋口文子「人形つかい16」は、人形と操る人との色彩や動きが対照的でおもしろい。塩屋信敏「南風(マンガロープ再生)」は写実的で、や



河野健一郎「いつもと違う道で」

第3回日展入選 おめでとうございます！ 河野健一郎 先生(美術)